

小学生リポーター「日本昭和村」に行く オープン前の突撃レポート



▲突撃レポートに参加していただいた加納さん親子。左からちよみさん、麻衣さん。



① 野外活動ゾーンの牧場



② 移植された古木



③

①麻衣さんお勧めの野外活動ゾーンにある牧場。いろいろな小動物とふれあうことができます。②県内外から約280本の古木が移植されました。③公園の説明を真剣に聞く皆さん。

小学生突撃レポート その④

こんなに大きな公園をつくったのはすごい

文・写真／加納麻衣さん（蜂屋小学校4年）

平成記念公園の見学にいきました。

最初におどろいたのは、入り口のすぐ近くにある珪化木けいかぼくの大きさでした。2千万年前の、およそ11トンもある桂化木の周囲が、たぶん日本一だろうと聞いてました。

平成記念公園には、4つのゾーンがあります。正面広場ゾーン、昭和村ゾーン、自然ふれあいゾーン、野外活動ゾーンです。

私は、野外活動ゾーンの小動物や、動物と遊べるコーナーにきょうみをもちました。小動物は、ウサギ、ラマ、ヤギなどで、そのほかの動物は、ウマ、ヒツジなどです。見学に行ったときは、まだ動物はいなかったけれど、動物と遊べるのは、楽しそうだなあ、早くオープンして遊んでみたいなあと思いました。

平成記念公園には、ほかにもみんなが楽しく体験できるコーナーがいっぱいあります。

た。早く平成記念公園がオープンして、いろんな体験や、遊びをやってみたいです。

私が、平成記念公園を見て思ったことは、昭和30年代の日本を、みんなに見せるためにこんなに大きな公園をつくったのはすごいということです。工事の人も、みんなが喜んでくれる公園をつくらうとがんばっている姿が見られました。みんなが協力して、ここまでやってきたのかなと思いました。私も、だれかと協力し、みんなに喜ばれるようなことをしたいです。



▲中央にイベントステージがあるボート池（麻衣さん撮影）